

(5) 平成14年度市民ワークショップ開催概要

目的

本市民参加会議（ワークショップ）は、緑の基本計画に位置づける市の緑化施策の具体的な展開方向について、三島駅南地区一帯を対象として、市街地の緑化を中心にした市民主体の先導的取り組み内容の提案をまとめたものです。

検討内容

ワークショップによる検討内容は次のとおりです。

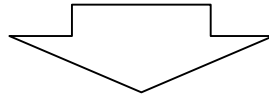
ステップ1：地区緑化方針図の作成

ア 前提条件の整理

既存公園や緑地の位置や「街中がせせらぎ事業」等の既存計画内容により整備される箇所などを対象地区の地図に整理し、地域の現在と、比較的近い将来の緑の整備内容を確認。

イ 緑化方針図の作成

前項で整理した図を元にして、さらに地区緑化が必要と考えられる部分を検討（現地調査で確認）。



ステップ2：地区緑化のための具体的な提案（アイデア）

地区の緑化のための具体的な提言を、以下に示す3つ程度の方針の分野を軸にし、「特に市民が取り組める内容」としてのアイデアを検討。

ア 既存公園・緑地及び新たな整備地区とつながる要素の検討（緑軸の補完）

イ 緑道、水辺等と既成市街地との一体性の考え方（市街地内の緑づくりのアイデアとして、例えば屋上・壁面緑化、施設緑化などの観点）

ウ 空地、寺社地など、現在位置づけはないが、将来的に活用できるような緑地やオープンスペースの抽出と活用イメージ

ワークショップからの提案について

< 夢街道チーム >

(三島広小路駅から三島裾野線、三島富士線、源兵衛川、蓮沼川を含む、広小路町、本町、泉町等の範囲)

メンバー：中山勝善、勝俣信一、古谷和夫

緑づくりの課題認識

(ソフト)

- ・伊豆箱根鉄道の土地があるので、植栽させてもらったらどうか。広小路の駅舎、軌道敷に緑を増やすよう協力を求める。
- ・民地の裏側にも緑化できそうな箇所が見られる。民地の生け垣化を条例化してはどうか。壁面にフラワーポットなどを置くようにしたらどうか。
- ・緑が整備されていても維持・管理が行き届かないところが目についた。維持・管理に近隣の人々の協力を求めたらどうか。
- ・商店街は緑化よりも活性化が先決だが、地域を緑化し緑の散策路と商店街をネットワークし、ゆったりすごせる商店街づくりを行なうことは商店街の活性化にとっても有効である。
- ・県の景観賞をとった商店(パン屋)などもあるが、行政も助成など支援策を考えることも必要。
- ・将来の街の姿をコンピュータで画像化して見せた方がイメージが具体的にわかりやすいのではないか。
- ・緑を守るためには、開発に備えて緑を保全する努力がいる。今後の開発に備えて、風致地区等の指定の検討もいるのではないか。
- ・通りの名前の由来を大切にするとともに、道路に親しみやすい名称をつけるのもよい。
- ・行政の積極性も必要であり、また三島の特徴を活かしたまちづくりをすべきである。

(ハード)

- ・本町通りのアーケードをはずし、一階部分は少し道路から後退するなど、緑を植えるスペースをつくれればどうか。またそうすることに何らかの特典を設けてはどうか。
- ・電線は地中化し、雨の日の雨除けは個性的なものにしてはどうか。
- ・街中がせせらぎ事業で遊歩道などができたが、人が滞留するところがない。ベンチを置いたり、ポケットパークを作ったりして、人の流れを留めるところがあると良い。
- ・河川沿いを遊歩道にすべきである。
- ・公園がほしい。



テーマ：商店街等の賑わいを活かした緑づくりによって、広小路の中心軸をヨーロッパ的な大通りのようなイメージにしていくこと

整備のポイント

- ・商店街の活性化になる様な魅力的な緑化
- ・伊豆箱根鉄道の活用
- ・源兵衛川と蓮沼川を一体的にした空間づくり
- ・まちなみ景観賞などを設け緑化を推進



風致地区：p.31 参照

街中がせせらぎ事業：p.1 参照

<みずべ散策チーム>

(三島富士線、三島裾野線、国道1号、源兵衛川に囲まれた佐野美術館等を含む南田町、中田町の範囲)

メンバー：小林允、酒井秀久、坂田義一、西尾甫、露木正利

緑づくりの課題認識

(ソフト)

- ・街路樹は落葉に対する地元の理解を得るよう努力し、守っていききたい。
- ・長く住んでいる住民が多く積極性のある地域なので、自治会などの協力で住民への協力を呼びかけると良いのでは。子供が少ない反面、子供会が機能しており働きかけやすいので、川岸の雑草取りや、落葉樹の葉の清掃などボランティアと学習を兼ねて募ってはどうか。
- ・駐車場の塀等にツタをはわせて緑化するなど、地元の理解を得る。
- ・駅前の花壇や国道の花壇のように様々な歩道に花壇を設けていききたい。
- ・河川沿いの桜並木など地元で植え替えなど保全活動を進めていききたい。市の協力のもと手入れを続けていききたい。河川の緑化も推進する。
- ・今でも多い湧水を活用できないか。
- ・雷井戸周辺の昔の面影を残したい。また池に行けるような散策路にできないか。
- ・佐野美術館をもう少し開放的な木漏れ日のあるような場所にできないか。庭づくりの勉強の場としては引き続き活用していききたい。



(ハード)

- ・今は歩けない川でも歩けるようにできそうなので、散策路になるよう整備する。また水量を確保する対策がとれないか。
- ・イト・ヨーカドーの通りは幅員が狭いが、各家庭が緑化していて雰囲気が良いので、もっと連続化・一体化させるなど、道路全体に活用すべき。同様に道幅が狭く、樹木を植えられないところも各家庭にお願いして、プランターなどを家の前に置いてもらったらどうか。
- ・国道の花壇を長くつなげたり、広場と一体化させたり出来ないか。
- ・大きな公園が欲しい。
- ・南田町広場と川を一体的に整備するなど、広場の活用を再検討すべきである。
- ・三島駅から国道までの三島停車場線が緑化されていないので植栽などすべきである。
- ・三島田町駅前に大きな木や花壇を設けたり、線路沿いを緑化したりするなど、地域の玄関口らしくするよう伊豆箱根鉄道に協力を求めるべき。

テーマ：「楽しめるみんなのみずべと四季を感じる花とみどりの豊かなまちづくり～潜在的なみずとみどりが(比較的)残る場所～」

整備のポイント

- ・小さな空間から全体へ
- ・市民レベルから全体へ
- ・イベント開催等とあわせ楽しく協力
- ・地域の多様な協力体制づくり
- ・2つの川と一体的に地域の緑化を促進



<水と緑と歴史に触れるチーム>

(三島駅南口から三島停車場線、三島裾野線、三島富士線、三嶋大社等を含む大宮町、大社町等の範囲)

メンバー：池田貞夫、池谷幸夫、諏訪部巨孝、浜野幸治、堀幸哉、渡辺了功

(ソフト)

- ・桜川沿いの緑地帯、楽寿園、三嶋大社、白滝公園、菰池公園、愛染の滝は保全したい緑である。
- ・大社の裏あたりは寺社が多く路地も多い。観光スポットにして、楽しく散策できる散策路がほしい。
- ・大社裏門の富士山が見える景色は活用したい。
- ・社会保険病院跡地の公園利用。
- ・菰池近くの日大テニスコートの空地进行緑化してにぎわいの創出を図りたい。



(ハード)

- ・三島駅から楽寿園、愛染の滝、白滝公園、桜川沿いのコースは三島駅からのメインのコースである。このコース沿いを緑化することが必要。
- ・桜川沿いの向こう側は何も木が植えられていないので、緑が欲しい。
- ・メインストリートづくりや緑で結ばれた散策路のネットワークづくりが必要。
- ・駅から本町交差点までの古いアーケードの改善・緑化。
- ・水道給水場や空地を活用した緑化。
- ・多田食品から水上マンションへ抜ける通りの活用。

テーマ：「南口～大社・散策を楽しめる緑づくり～まちの横顔づくり(水と杜)、観光客にアピール～」

整備のポイント

- ・緑の拠点をつなぐネットワークづくり
- ・駅から商店街も交えたメインストリートづくり
- ・三嶋大社周辺～裏路地までの散策ネットワークづくり

